製造業　1,000人以上　口腔保健

6. 定期的な歯科健診を通じた歯と口の健康づくり

企業の基本情報

業種	製造業（生産用機械器具製造業）
平均年齢	37.8歳
労働者数	約4,200人
事業場内の推進スタッフ	• 保健師　４人 • 健康担当専任スタッフ　４人 • 人事総務管理部門スタッフ　６人
活用している事業場外資源	• 健康保険組合（事業運営方法の共同企画、健診の費用補助） • 県の歯科医師会（地域の歯科医院との連携サポート） • 地域の歯科医院（事業場外での歯科健診の実施） • 歯科健診委託事業者（事業場内での歯科健診の実施）



取組のポイント

取組前の状態

■ 「一級の仕事をするためには健康も一級であるべき」という考えのもと、**健康に関する活動も一級を目指す**ことに
■ **事業者が予防歯科に問題意識**を持っており、令和元年度のテーマを口腔保健に

活動内容

■ 歯科健診の習慣化を目的に、**歯科健診を年２回**実施

取組後の状態

■ ①全労働者が歯科健診を受診する、②治療対象者の８割以上が歯科治療を受ける、③労働者の８割以上が年度内に歯科健診を再受診する、を概ね達成

0. 取組のきっかけ

■ 「一級の仕事をするためには健康も一級であるべき」という企業理念に基づく考えのもと、**健康に関する活動も一級を目指し**、平成25年から「健康」に関するテーマを単年で定め、**健康保持増進に関する目標管理活動を実施**することに
■ **事業者が予防歯科に関する問題意識**を持っており、令和元年度は**「デンタル一級」をテーマ**にした

1. 方針の表明

■ **企業理念**「環境と健康、安全への配慮は全企業活動に共通する考えである」や、「安全／健康は、最優先事項の一つである」など10項目からなる**『安全・健康原則』を労働者に周知**
■ **健康に関する各目標管理活動**は、**全社イントラネット**を通じて、事業場内に展開

2. 体制構築

■ 事業場内の推進スタッフ（保健師・健康担当専任スタッフ・人事総務管理部門スタッフ）
　歯科健診案内、県の歯科医師会・地域の歯科医院との調整、外部歯科健診費用補助申請書の管理、管理用アプリの開発・運営など
■ 事業場外資源
- **健康保険組合**：**事業場内の推進スタッフとの打合せ（月１回）**による事業に関する意見交換や取組の検討、**歯科健診の費用補助**などを実施
- **県の歯科医師会**：地域の歯科医院との連携サポート（統一健診項目の書式作成のアドバイス）
- **地域の歯科医院**：１回目の集団歯科健診結果に基づく治療、２回目の個別歯科健診の実施
- **歯科健診委託事業者**：１回目の集団歯科健診の実施

3. 課題を踏まえた計画の作成

■ むし歯や歯周病など、歯や口腔内の問題が全身の健康状態にも影響を与えることから、デンタル不調が及ぼす健康へのリスクを学び、**歯科健診の習慣を持つことを目的**に**歯科健診**を計画
■ 具体的な数値目標として、①全労働者が歯科健診を受診する、②治療対象者の８割以上が歯科治療を受ける、③労働者の８割以上が年度内に歯科健診を再受診する、の３点を設定
■ これに加え、全労働者が「歯が及ぼす健康へのリスク」について学習することも目標として設定

4. 取組の実施

①歯科健診の実施



「アプリによる歯科医院の検索」

- **歯科健診を年度内に２回実施**
  - 労働者が多い事業場（100人以上）
    １回目の歯科健診（６～８月）：
    歯科健診委託事業者による事業場内での集団歯科健診
    ２回目の歯科健診（12～３月）：
    近隣の歯科医院（※）での個別歯科健診
  - 労働者が少ない事業場（100人未満）
    １回目の歯科健診：**近隣の歯科医院での**個別歯科健診
    ２回目の歯科健診（12～３月）：近隣の歯科医院（※）での個別歯科健診
    ※労働者が各自で希望する歯科医院を選択
- １回目は企業が全額補助（個別歯科健診は上限あり）。２回目は健康保険組合が一部費用を補助

②管理用アプリによる健診状況のフォロー・学習支援

- **健診状況のフォロー**
  自社で開発した管理用アプリを活用して、治療の要否の見える化や治療証明の登録、再健診の**受診管理**を実施。このほか、アプリでは、社内歯科健診受診の申請、口臭チェック管理・治療管理、２回目の外部歯科健診受診管理・補助申請などが可能
- **口腔保健に関する知識向上に向けた学習支援**
  上記**アプリを活用して、「歯が及ぼす健康へのリスク」についての学習と理解度テスト**を実施。**全労働者を対象**に、歯科衛生士による磨き方のセミナー動画受講と理解度テストを行うことで、**口腔保健に関する知識・理解を向上**

取組を成功させるためのポイント

＜賞与連動型の目標管理により、活動へのインセンティブを付与＞

■ 一連の取組については、**各部署の年間目標として設定**することで、上司をはじめとする部署内で歯科健診の受診勧奨が行われている。また、**目標管理の結果が賞与に反映**される仕組みもあることが**活動へのインセンティブ**となり、高い受診率に繋がったと思われる

5. 取組の結果・評価

■ **目標管理**に対する実績として、①全労働者が歯科健診を受診する、②治療対象者の８割以上が歯科治療を受ける、③労働者の８割以上が年度内に歯科健診を再受診する、の全項目を**概ね達成**している
■ 口腔保健に関する目標管理は単年度であったが、今後も、健康保険組合と協力して歯科健診事業を継続し、効果測定を行っていければと考えている

取組にあたって苦労した点

■ 集団歯科健診と個別歯科健診を同じ窓口で一括契約する方法が見つからず、**個別に探して交渉する必要**があり、非常に手間がかかった
■ 歯科健診の統一項目がないため、**対象となる検査内容を指定し提示する必要**があった

これから取り組む事業場へのアドバイス

■ 企業だけ、健保組合だけでの実施では、なかなか労働者にとって魅力的で効果的な事業の展開や高い実施率を確保することは難しいと思う。**お互いの強みを生かして企業の健康管理部門と健保組合が協力してこそ、より良い健康事業を実施**できるものと思う
■ **歯科健診に関しては**、県の歯科医師会などが窓口となっている地域もあるので、**県の歯科医師会に相談してみるとよい**と思う